



あさぎり町 農業委員会だより



くまもとグリーン農業

令和5年
12月発行

編集発行：あさぎり町農業委員会
あさぎり町免田東 1199 番地 ☎ 0966-45-7225
<http://www.town.asagiri.lg.jp/>

秋深し

あなたのソバに

農業委員

あさぎり町農業委員の募集について

現在の農業委員は、令和6年4月12日をもって任期満了となります。

農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進を目指す農業委員を募集いたしますので、募集期間までに応募くださいますようお願いいたします。

募集期間 令和6年1月12日から令和6年2月8日午後5時（当日消印可）

応募方法 推薦・応募書類に必要事項を記入の上、あさぎり町農業委員会へ提出

募集人数 26人（定数）

委員の任期 令和6年4月13日から令和9年4月12日まで（3年間）

報酬等 年額300,000円 ほかに費用弁償等あり

業務内容

- ・農地の権利移動、農地の転用、農地の賃貸借等の許可および審議採決
- ・農地の利用状況調査および意向調査、遊休農地対策
- ・賃借料情報の提供
- ・農地の貸借、売買のあっせん等
- ・農地の保全
- ・農業経営の規模の拡大
- ・農業への新規参入促進
- ・農地中間管理機構との連携推進等

※応募書類は農業委員会事務局にあります。またはホームページにも掲載しています。

※応募いただいた候補者は、町長が選任し、議会の同意を得て任命いたします。

※募集期間に置いて、募集人員が定数に達しない場合は、募集期間を延長します。

お知らせ 料金が変わりました

—作業料金表—

（一社）あさぎり町農業支援センター ☎ 0966-45-1134

令和5年12月1日現在

※料金は予告なく変更する事があります。

1. 作業員による農作業

田、畑、果樹園などで行う人力作業（種蒔き、定植、芽かき、収穫 など）

1人につき1日8時間以内 1,070円／1時間



刈払機による作業

背負式や手持式の刈払機を使用した人力による草刈り

1人につき1日8時間以内 1,130円／1時間



機械損料、燃料代が別途必要です

わたしたち農業女子です



源島 真弓さん

須恵地区

令和4年4月に就農しました。
現在はタバコ、メロン、ズッキーニを作っています。
農業の楽しいところは、時間を目一杯使って思う存分働くことができ、お昼寝ができることです。
大切にしているところは、人間関係です。今は助けてもらうことばかりですが、早く人の役に立てるようになりたいです。
これからは、メリハリのある効率の良い働き方に挑戦したいです。



お友達になってください!!



豊永 真理子さん

免田地区

令和4年12月に就農しました。
現在は栗と露地野菜を作っています。
長年事務員として働いてきましたが、農業を通して体をたくさん動かすことができるので、体力がついてきました。
何より、子どもと過ごす時間が増えて楽しく働くことができます。



農業は楽しいです!!



あさぎり町で頑張っています!!

～農業者紹介～

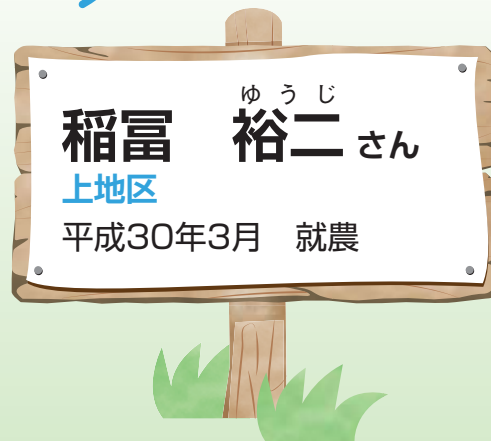
日本で農業ができるのは、とても幸せなことです。
日本のお米で世界の食料を支えたいです。

◎主な作物:米・WCS・麦・きゅうり・メロン



高校を卒業して 30 年間サラリーマンをしていました。
実家はタバコ農家でしたが、手伝ったことは一度もありません。しかし父が他界したことをきっかけに、農業へ転身し周りの人に教えてもらいながら、農業を頑張っています!

◎主な作物:水稲・ミシマサイコ・WCS・ニンニク



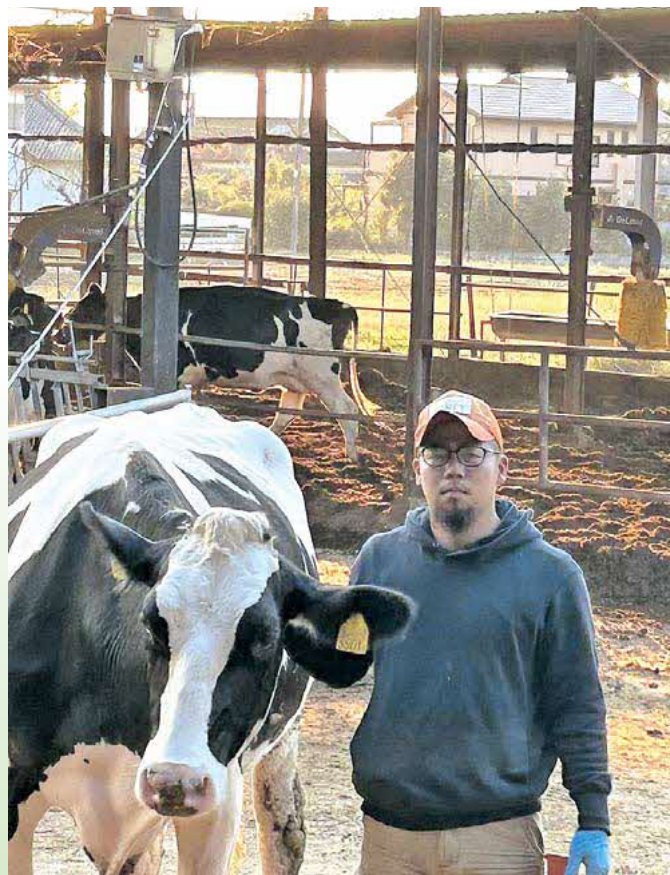
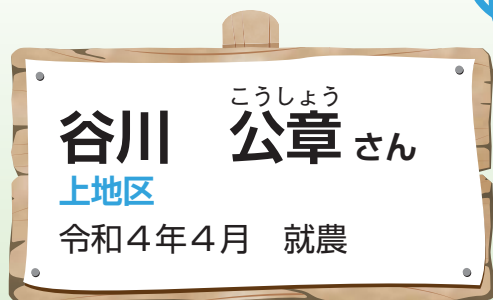


新規就農して5年目。『農業』についてやっと分かってきたところ。周りにも同世代や年の近い先輩もいて楽しいです。大先輩の方々も皆さん優しく、作業に呼んでもらったり、分からないこともたくさん教えて下さいます。
まだ5年。農業の楽しさ、大変さを知り、経験していきたいです。

◎主な作物:きゅうり・メロン・スイートコーン・ズッキーニ



実家を継ぎたいと思い、就農しました。現在は共進会に向けての牛作りをしています。目標は、搾乳頭数 150 頭です。目標を目指して頑張ります。



委員会研修報告



11月6日～8日、

令和元年以来となる農業委員の視察研修に行ってきました。任期最終年ということもあり、総勢21名、2泊3日で北関東方面での研修です。久しぶりの遠出ということで、修学旅行気分で出発しようとした矢先、いきなりハプニングが。町のバスのトランクに詰め込んだ荷物の扉が、出発前に確認したところ開かなくなっていました。飛行機の時間が迫る中、押したり引いたり叩いたりして約30分、ようやく開きました。もし確認せず空港で開かないとなったら、おそらく私を含め数人は3日間、同じ服で過ごすことになったでしょう。

無事、東京に着き、最初の研修地は栃木県壬生町。県都宇都宮市に隣接し、人口約4万人で人吉市より多く、熊本でいえば菊陽町みたいな所かと思えます。庁舎も近代的で広く、1階に全ての課があり開放的な職場でした。

ここでは、壬生町農業委員会を訪ね、農業新聞の普及推進というテーマで、前会長の梁島さんの講話がありました。梁島さんは「全国農業新聞（週刊）」の普及推進で表彰された方で、固い内容の農業新聞を普及させるため、飲食店や床屋さんに新聞を置いてもらい、まずは見てもらうことで広め、集金も委員が行い購読者を増やしていったそうです。

その後、イチゴ農家の梁島さんの農場を視察しました。栃木県は言わずと知れた日本一のイチゴの産地です。球磨では高設栽培が増えてきましたが、壬生町ではヒザの高さまである高畝栽培で高設はないそうです。高設は経費もかかるし、土の方が収量がとれるということで、平均反収800万円、名人になると1,300万円を上げる人もいるということです。梁島さんも1.1haの栽培で、名人の部類に入ると思うので、イチゴだけで軽く年収1億超えと推測、首都圏から車で1時間の立地条件を活かした「儲かる農業」を見せてもらいました。

二日目は、午後からの研修の前に「世界遺産 日光東照宮」へ。朝方降っていた大雨も東照宮に着く頃には止み、天皇家ゆかりの地で、あさぎり町民の幸せと来年の豊作を願ってきました。昼食後、さいたま市にある「農研機構 農業機械研究部門」という国立の施設を視察しました。こ

こは、現在急速に発展している無人のAI搭載のスマート農業に対する機械や、機械の安全性などを精査する、農業機械が世に出る前の「関所」みたいな所です。今後、農

家人口が減っていく中で、このような機械は必要になりますが、値段が高いことが一番のネックです。日本の農業を守るために、国や県、町の支援が必要だと思いました。

今回の研修の感想として、やはり私たちの住む球磨地域は、球磨川の豊かな水と広々とした農地に恵まれていると感じました。一日目に視察した壬生町は、1筆1筆が狭く平地でありながら、未だに基盤整備されていない農地がまだ多くあるとのことでした。これから来るであろうスマート農業時代を担う大規模農家も、それを必要としない中小規模農家も一緒にあって「あさぎり町の農業」を守っていければと思います。

農業振興対策班 班長 田崎 洋二郎



あさぎり町農業



11月6日(月)は、全国農業新聞の購読普及活動の先進地として栃木県の壬生町農業委員会を訪問しました。地元農業委員会局長からスタッフが紹介され、会長職務代理者から歓迎の挨拶がありました。その後本題である購読の取り組みとして前年度まで農業委員会会長をされていた梁島さんより内容説明がありました。農業委員一人あたり5部以上の購読者推進取り組みとして農業者以外(飲食店、理容など)の人が集まるところに購読を依頼し、その結果全国表彰を受賞し、全国の農業委員さん達と情報交換が出来るようになった。また地域から特産品を送ったり贈られたり、そんな楽しみが今でも続いていると話がありました。今後、あさぎり町農業委員会でも購読推進の参考にしたいと思

います。

現地の視察として梁島さんのイチゴハウスに行きました。イチゴの経営は、1.1haで全てハウス栽培です。品種は2020年から栃木県の新品種『とちあいか』従業員は20名(うち外国人4名)生産量は反あたり10トン、温度管理は地下水利用8℃以下にならないようにしているとのことでした。生産量の反あたり10トンは素晴らしいと思いました。

7日(火)は埼玉県さいたま市にある農研機構農業機械研究部門を訪問しました。農研機構本部は、つくば市にあり全国に7つの研究センターがあります。私たちは、さいたま市にある同研究部門担当の藤岡さんより農研機構の概要説明を受け、ビデオによる農研機構の取り組みなどを研修しました。内容として①作業の効率化による経営改善のためAIを利用した知能化農機研究②労働力不足に対応する無人化作業研究③毎年300件以上発生している死亡事故対応のため、システム安全工学研究④農業生産現場の諸問題の解決を目的に農業機械技術クラスター事業への取り組みなどです。その後、2つの施設を視察しました。1つは各機械メーカーから展示されている現代の農業機械の展示場です。農研機構の視察研修は初めてでしたので、たくさんの職員で色々な研究に取り組みされてい

ることを知り、大変勉強になりました。

藤本 勇二

.....

全国農業新聞の購読推進で毎年優秀な成績を収められている壬生町農業委員会に研修をさせてもらいました。前会長よりお話を伺い、意気込みの凄さを感じました。全国農業新聞を読んでもらって、農業の現状や課題、将来に向けた方向性を皆さんに理解していただくという考えがあつてのことだろうと感じました。

二日目に埼玉県の国立農研機構、農業機械研究所を研修、視察させていただきました。高効率、安全スマート農業の構築に向けた研究をされている施設で、農業機械の無人化、各種収穫ロボットの研究開発、また女性の体型に合わせたトラクター研究開発などをされている説明を受けました。しかしながら、問題なのは価格が高いことで、利用したくても手が出ないのが現状です。助成金をつけていただくなどの対応が必要だと思いました。

最後に、今回の研修にあたり、町からの予算をいただき、感謝申し上げます。今後ともご理解、ご協力をお願いいたします。

杉下 和治

畦道での声掛けが、まず第一歩

まだまだ残暑が厳しい中、今年も熊本県立劇場において「熊本県農地利用最適化推進大会」が開催されました。今年は昨年よりも多い19名の参加で、あさぎり町農業委員会の一体化を感じながらの研修になりました。

大会において、農業委員会優良活動表彰式があり、農業者年金加入推進の部で団体と個人の表彰、遊休農地解消の部で個人表彰を受け、あさぎり町農業委員会の底力を見せることができたのではないかと思います。

事例発表では、宮崎県農政部の串間氏より「農業委員会を中心とした地域代表の活躍で地域活動を活性化」と題し、市と農業委員会との地域の関わりについて発表がありました。温暖な気候を利用し、野菜や果樹、花卉等の施設園芸を基盤とし、早期水稲と畜産の組み合わせを軸に発展してきたが、やはり高齢化や担い手不足に伴い、農地や水路、農業用施設が適切に管理できない状態を改善すべく、農業委員と推進委員が中心となり『人・農地

プランの実質化』に取り組みされました。年間スケジュールを定め計画的に実施し、地域の住民と市行政とのくさびとして農業委員が働くことで、地域別で様々な課題が浮かび上がったことがとても大切。改善に向けこれからも取り込んでいくとのことでした。

記念講演では長野市農業委員会会長の青木氏より「園地整備で豊かな郷土づくり」と題し農用地基盤整備事業について話をされました。作業効率の悪かった農地の基盤整備をする事で、生産性の高い果樹園地の形成、担い手の若返り、ブランドの復活を達成する事ができたそうです。事業において①住民地権者への理解と説得②現役農業の生活保障③土地に対する執着心④役員すべてボランティア活動、以上の点が最も重要だったそうです。

最後に農業者に寄り添う農業委員会である為に「畦道での声掛けが、まず第一歩」の言葉を胸に活動を発展させたいと思います。

中村 幸二



遊休農地解消の部受賞
中村幸二さん



農業者年金加入推進
団体の部受賞
あさぎり農業委員会



農業者年金加入推進
個人の部受賞
宮原久子さん



九州・沖縄ブロック農業委員会 女性委員研修会に参加して

(11月13日～14日)

今回の大会は熊本で初めて行われる大会ということで、役員スタッフの皆様の頑張りを見聞きした中での参加でした。

今回のテーマは「見つめなおそう、食料と農地」

参加者全員が話すことをコンセプトにワークショップメインの大会で300人以上の参加者が40のテーブルに分かれ、各々の思いを語る姿は圧巻でした。

2日にかけて議論した後、まとめの発表の中で、同じ班の方々との距離が近くなり、より多くの気づきと女性農業委員活動の方向性が見えた大会となりました。

最後に、今回の大会にたくさんの方にご支援をいただき、参加するにあたり背中を押して頂いたことに感謝申し上げます。

橋口 京美



遊休農地への取り組み

あさぎり町農業

委員会では、毎年8月と11月に現地調査や農地パトロールを行なっています。目的は①地域の農地利用の総点検②遊休農地の実態把握と発生防止、解消指導と違反転用早期発見、更生対策です。



町内でも、農業者の高齢化、後継者不足などにより、農地の管理ができずに荒廃する農地が増加傾向にあり、それに伴い鳥獣害等も増えています。また、近年、肥料、資材の高騰による生産性の低下などもあります。

皆様には、草払いなど維持管理をお願いし、

今後も遊休農地の解消に向けて活動をしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

北川 浩臣

タブレットを使っています!



農業者年金に加入しました

兒玉 ^{まさき}真樹 さん
(上地区)

保険料の額は、いつでも変更可能で、継続していくことがメリットだと思います！

将来、老後の安心と楽しみのため、ぜひ加入しましょう!!

親の勧めで
就農時に加入しました。



農業者年金を受給しています

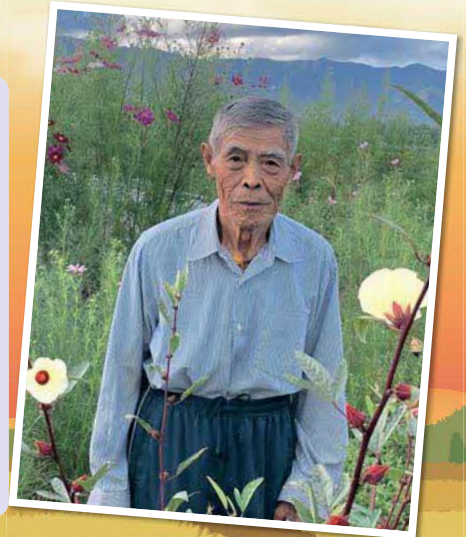
橋口 ^{ほまれ}譽 さん
(深田地区)

年金を受給するようになって20年以上、国民年金にプラスで自分にも家族にも心のゆとりができています。

～未加入の方への一言～

農業者年金は、農業者のために作られた年金です。80歳すぎましたが、加入していて本当に良かったと思っています。

仕事が思いっきり
できる時にぜひ加入を



全国農業 新聞



農業現場に
役立つ情報
をお届けします!

発行日 毎週 金曜日
購読料 1ヵ月 700円
(送料 税込み)

「表紙の紹介」

上地区永里の畑にて
雨が降った翌日の
日の出の風景
撮影者 中村好文



令和4年度の農業者年金 優良加入推進活動において、受賞しました



(一社)熊本県農業会議会長賞 団体表彰
第1位 あさぎり町農業委員会

(一社)熊本県農業会議会長賞 個人表彰
第1位 宮原 久子さん

今後も農業者年金のメリットをみなさんにお伝えしていきたいと思えます。

加入の要件を満たせば、いつでも加入が出来ます。

支払いが厳しくなった時には、支払額を減らしたり、脱退も可能です。

将来の老後のために、少しでも早い加入をお勧めします。

国庫補助については、お近くの農業委員または事務局にご相談ください。

人生100年時代、

農業者 年金

で
安心・豊かな
老後を。

「農業者年金」は、
農家のことを知り
尽くした農家のた
めの年金制度です。

POINT
1

農家に最適な

6つの特徴とメリット

- 1 農業者なら**広く加入**できる
- 2 **積立方式・確定拠出型**で
少子高齢時代に強い
- 3 通常加入の場合、
保険料の額は**自由に決められる**
(月額20,000円~67,000円)
- 4 **終身年金**に加え、
80歳前に亡くなられた場合は
死亡一時金がある
- 5 税制面の**優遇措置**が大きい
- 6 一定の要件を満たす農業者には
保険料の**国庫補助**がある

POINT
2

令和4年から

制度改正でさらに便利に!

- 令和4年
1月から 若い農業者が加入しやすいよう
保険料が引き下げられます
35歳未満で一定の要件を満たす方は
月額1万円から加入できます
- 令和4年
4月から 農業者年金の受給開始時期の
選択肢が広がります
年金の受給開始時期をご自身で選択できます
 - 農業者老齢年金..... 65歳以上75歳未満
 - 特例付加年金..... 65歳以上(年齢上限なし)
- 令和4年
5月から 農業者年金の加入可能年齢が
引き上げられます
一定の要件を満たす場合、60歳以上65歳未満の
方の加入もできます

さらに詳しい
内容は動画で
解説中です!



CHECK!



かぶとブロッコリーで2品作ろう

かぶのあったかスープ

材料

- ・かぶ(大根でもOK)
- ・ブロッコリー
- ・白菜
- ・卵
- ・ごま油
- ・中華スープのもと

レシピ

- ① かぶとブロッコリーを下茹でする。
- ② 鍋に水を入れて沸かして、①を入れ白菜を入れる。
- ③ 煮立ったら、ごま油と中華スープを入れて、最後に溶き卵を回し入れ、出来上がり!!



かぶをつけて味噌

材料

- ・かぶ
- ・ブロッコリー
- ・にんにく味噌
- ・もろみ味噌

レシピ

- ① かぶとブロッコリーを下茹でする。
- ② お好みでにんにく味噌またはもろみ味噌をつけて召し上がれ!!

作ってみて! 農家の時短レシピ



簡単ちくわ巻き

材料

- ・ちくわ
- ・きゅうり
- ・片栗粉
- ・豚バラ肉
- ・大葉
- ・塩コショウ

レシピ

- ① ちくわの中にきゅうりを詰めて、大葉を巻き、豚肉を巻いて、片栗粉をまぶす。
- ② 焼いて、塩コショウをして出来上がり!!

レシピ提供：井手久美子

編集後記



今年は大雨や台風など大きな災害もなく、農家にとって
は久しぶりに実りある収穫の秋を迎えられたことと思う。
新型コロナウイルスで振り回された日常もようやく取り戻してき
た。特にスポーツ界では、大いに盛り上がった年ではなかつ
ただろうか。3月の野球WBCの優勝に始まり、バスケット
やバレーの来年のパリ五輪予選や、最後は阪神の38年ぶ
りの「アレのアレ」で締めくくった。
満員の観客も戻って、話題豊富な1年だったと思う。
私たちの生活も、ほぼコロナ前に戻ったが、ひとつ戻っ
ていないのが飲み方における「さかずき」ではないだろう
か。宴会の数は以前のように増えたが、特にコップ盃をす
る人は、今ほぼ皆無である。コップ盃については、もとも
と否定的な意見もあったが、今思えば、人の話題に割り込
むきっかけだったり、酔くらいに長時間からまれている人
に助け船を出す手段だったり、割と重宝していた気もし
て、今の飲み会に少しさちなさを感じている人も多いの
では?コップ盃は復活しなくとも、私が好きな『球磨拳』
や『バラケン』の『イツチョニー』とか『パーはどーな
チョーはどーな』の賑やかな声は、ぜひ戻ってきてもら
いたいと思っている。
令和になって、おそらく一番平穏だった今年もあと少し。
コロナに代わって息を吹き返してきたインフルエンザにも
気をつけながら、新しい年を迎えましょう。

田崎 洋一郎

農業振興対策班

- 班長 田崎洋一郎
副班長 井手久美子
中村 好文
谷川 新二

- 緒方 信三
北川 浩臣
吉田 利明
宮原 久子
橋口 京美